



出発していい？



ジャンケンできめよう！



うーん、うごかない！



よいしょ！よいしょ！

CASE 14
2歳児



段ボール箱が電車に変身！

(幼児の実態)

7月になって、友達と一緒に遊ぶ楽しさを感じている子どもが増え
てきています。したいことやしてほしいことを自分なりの言葉で伝えなが
ら友達と同じ遊びをしたり、誘ったり、友達のことについて話を、真似して
みたりなど、周りの様子に興味や関心を持って遊んでいるようです。

協力園
豊後大野市
にっこ保育園

段ボールの箱で作った坂の上からボールを転がしたり、段ボ
ール箱をめがけて投げ入れたりして遊んでいるうちに段ボ
ール箱の継ぎ目が折れて坂が崩れてきました。すると、A児は違っ
た遊びをイメージし始めました。

坂を作っていた段ボール箱を「よいしょ、よいしょ」と部屋の中
央に運ぶと、「Bちゃん、乗れるよ」と友だちを誘って箱の中
に入ります。B児が「電車みたいや」と言つと、A児も「電車に乗
つてお出かけしようよ」と二人のイメージが広がっています。

A児はさらに「お出かけするのにお弁当があるわ」とボ
ール箱におにぎりを見立て、段ボールの切れ端をクルツと丸めて、筒
状のお弁当箱にしてボールを入れています。さらに、電車に乗
っているB児に、「今、お弁当作っているから出発しないでよ」と
伝えていきます。

出来上がったお弁当を持って電車に乗ったA児は、B児と顔
を向き合わせて乗っていました。「出発せんといけん」と一
端、箱(電車)から出ると、電車を引っ張って動かそうとします。
B児が乗ったままだと重たくて、動きません。

A児は、「動かんわ！」と言いながら力を込めて引っ張つてい
ます。A児たちの様子に気付いた保育者が側にやってきて、「バ
スにのって」の歌詞を『電車にのって』に変えて歌い始めます。

♪でんしゃにのって ゆらゆらてる ゴーゴー
♪そろそろ みぎに まがります
♪3.2.1 ウアー

電車が動いている様子の歌が、実際に電車に乗っているよう
な気持ちになったようで、二人を満足させています。その後も
A児とB児は「かわって！」の言葉を交わしながら運転手役を
交替しています。保育者の歌に合わせて身体を揺らしながら、
繰り返し楽しんで二人の様子に気付いたC児が「わたしも
運転手したい！」と寄ってきました。自分の番だったB児が「ジ
ャンケンしよう」とC児にジャンケンで運転手役を決めることを
伝えていきます。ジャンケンの結果は「B児がグーでC児がチョキ」
でした。B児が「グーが勝った！」と大きな声で喜びます。

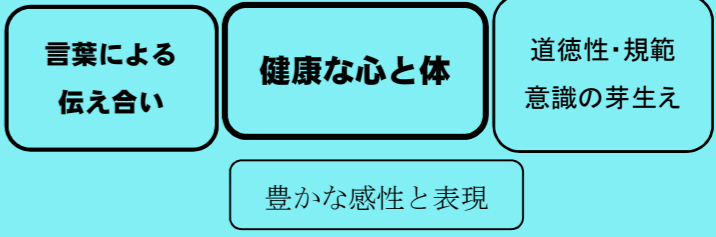
そんな二人のじゃんけんの様子を保育者は見守っていました
が、C児の「Bちゃんの次は、わたしがするね」と納得した声に、
「ジャンケンのルール」を理解していることに気付きました。そし
て、二人に「ジャンケンで、決めたんやね。BちゃんもCちゃんも
すーい！」と、二人の行動を認める言葉を掛けています。

A児たちの歌う『電車にのって』の歌声で、他の子どもたちも
「のせて」のりたいたい、電車「ごっこ」に関心が広がってきました。
自然と運転手役の子どもは、出発する前に後ろを見て、みん
なが乗っているか出発のタイミングを考えている様子が見られ
ます。

運転手の「出発！」の声でみんな一緒に歌い始め、自然と歌に
合わせて身体を揺らしています。

さらに保育者の歌う歌詞に、「左に曲がります」「坂を上りま
す」「坂を下ります」「止まります」が加わり、益々、電車「ご
っこ」が楽しくなっている子どもたちです。

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿
「10の姿」



保育園の生活の中で、充実感をもって自分のやりたい
ことに向かって心と体を十分に働かせ見通しもって
行動し、自ら健康で安全な生活をつくり出すようになる。

事例から見られる10の育ち

健康な心と体

電車に乗って出かけるのに弁当を持って
行くことを思いつき、弁当を作る姿や友だち
を誘って、電車「ごっこ」を楽しんでいる姿から
自分のやりたいことに向かっている姿から
自分のやり組んでいることがうかがえる。電車
は動くものと認識していることから、動かし
たいと思ひ、引っ張ってみるが動かないこと
が分かった後、保育者の歌で動きをイメ
ジし、全身で楽しんでいることが伝わって
くる。

事例から見られる10の育ち

言葉による伝え合い

「乗れるよ」「電車みたい」「電車に乗
つてお出かけしようよ」と言葉を交わしながら
遊んでいる姿や、「お弁当を作っているから
待ってね」と自分の気持ちを伝える姿、また、
二人の遊びの中に他の友達を受け入れたり
する場面でも、楽しく言葉のやりとりをしな
がら、遊びを続けることがうかがえる。

こういった姿は、考えたことや経験したこ
となどを自分なりに言葉で表現して会話を
楽しみ、相手の話も関心を持って聞くこと
する姿に繋がることが考えられる。

健康な心と体
環境構成のポイント

- 子どもの姿を優しく見守り、寄り添う保育者が身近に
いることで、安心して自分から遊びに向かい、今の自分
が持っている心身の力を存分に発揮して、友達と一緒に
楽しもうとする姿につながっている。
- 子どもの思いを感じ取り、遊びを支えている保育
者の援助が子どものイメージした遊びを満足させ、周
りの子どもも「楽しそう！」と興味や関心を持つきか
けになっている。
- いつでも自由に遊べる段ボール・カラーボールを身
近に置いておくことで、遊び慣れている物からイメ
ジを膨らませ、遊びを考えるきっかけになっている。